※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　工業科

教科	工業	科目	溶接アート	単位数	２単位	年次	2～4年次
使用教科書	自主制作教材						
副教材等	特になし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

アーク溶接作業に必要な装置の構成を学び、各種溶接技術を習得する。
溶接技術を応用してデザイン的な生活に密着した作品を製作する。

２　学習の到達目標

溶接の知識、技能を実践的・体験的な学習活動を通して、工業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目標とする。さらに、作品と生活とのかかわりを自ら考え判断し、製作を通して表現するとともに､作品制作において各種溶接技術を積極的に活用しようとするなどの主体的に学びに向かう態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・アーク溶接作業に必要な装置の構成を学び、各種溶接技術を習得する。	・溶接技術を応用して、デザイン的な生活に密着した作品を自ら考え設計し、製作を行う。	・各種溶接技術を積極的に学び、作品を通して学びに向かう態度を育もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

前期	後期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
					知(a)	思(b)	主(c)
4月	10月	・ストレートビード ・ウィービングビード	・ストレートビードの練習 ・ウィービングビードの練習	a:ストレート・ウィービングビートの方法を知り、技能を高める。 b:理想的なビートをするには、どのようにすればよいか考え、表現する。 c:アーク溶接に関心を持ち、考察しようとする。	ワークシート口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察振り返りシート
5月	11月	・突合せ溶接 ・すみ肉溶接	・突合せ溶接およびすみ肉溶接の練習	a:突合せ溶接・すみ肉溶接の方法を知り、アーク溶接の技能を高める。 b:突合せ・すみ肉溶接をうまくするには、どのようにすればよいか考え、正しく判断することができる。 c:アーク溶接に関心を持ち、考察しようとする。	ワークシート口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察振り返りシート
6月 7月	12月 1月	・ブックエンドの製作	・ブックエンドのデザイン、設計 ・鋼材の切断と溶接による組み立て ・塗装	a:これまで学んだ技能を活かして、ブックエンドの製作に必要な知識・技能を身に付けることができる。 b:使用するブックエンドについて、自らの考えを表現し、正しく判断することができる。 c:ブックエンドの製作に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	ワークシート口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察振り返りシート
9月	2月	・傘立ての製作	・傘立てのデザイン、設計 ・鋼材の切断と溶接による組み立て ・塗装	a:これまで学んだ技能を活かして、傘立ての製作に必要な知識・技能を身に付けることができる。 b:使用する傘立てについて、自らの考えを表現し、正しく判断することができる。 c:傘立ての製作に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	ワークシート口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度